

<b>2023-A</b>			
<b>国際機関名 (英語略称)</b>	国連開発計画(UNDP)		
<b>英文名称</b>	United Nations Development Programme(UNDP)		
<b>種 別</b>	国連計画・基金		
【所管官庁担当局課・室名】外務省 地球規模課題総括課			
【当該国際機関の本部所在地・活動目的等の概要】 本部所在地:アメリカ(NY) 活動目的等: UNDPは34の国連機関等からなる国連持続可能な開発グループの副議長を務める開発分野の中核的国連機関であり、開発分野における高い専門的知見と経験及びグローバルなネットワークを有している。UNDPは様々な形態の貧困の撲滅を通じた持続可能な開発の実現、危機に対する強靱性の構築及び持続可能な開発に向けた構造改革の促進という3つの柱を目標に据えて、途上国のニーズに即した支援を170の国・地域で実施している。			
【当該国際機関の財政(2023年予算)】 出典:国連会計検査委員会報告書			
	総収入	総支出	
分担金・義務的拠出金			
任意拠出金	5,934,000	5,584,000	
会計年度:暦年,2023-01-01~2023-12-31			
会計検査機関名:国連会計検査委員会(BOA)(構成員の出身国:フランス,中国,チリ)			
【任意拠出金の拠出上位5か国等(2023年のもの)】 出典:UNDP Transparency Portal			
	国 名	金額(米貨)	拠出率(%)
1位	アルゼンチン	694,540	11.7%
2位	欧州連合(EU)	507,320	8.5%
3位	ドイツ	436,530	7.4%
4位	日本	430,540	7.3%
5位	アメリカ	404,850	6.8%
【分担金・義務的拠出金の拠出上位5か国等(のもの)】 出典:			
	国 名	金額( )	拠出率(%)
1位			
2位			
3位			
4位			
5位			
【我が国による拠出の形態】			
分担金・義務的拠出金の名称及び主管官庁:			
任意拠出金・出資金、基金の名称及び主管官庁:(B票参照)			
【当該国際機関で働く邦人職員(2023年12月時点のもの)】			
邦人職員数	65人	当該機関全体の職員数	2564人
うち幹部以上	うち10人	及び邦人職員が占める率	2.5%
【邦人職員が占めている幹部ポスト(Dポスト以上)】			
	ポストの名称	職員氏名	備 考
	本部危機局長	野田 章子	
	インドネシア常駐代表	下村 憲正	
	タンザニア常駐代表	小松原 茂樹	
	東エルサレム事務所副代表	野口 千歳	
	駐日常駐代表	ハジアリッチ 秀子	
	ウズベキスタン常駐代表	藤井 明子	
	本部アフリカ局TICADプログラム顧問	諸田 いずみ	
	スリランカ常駐代表	横須賀 恭子	
	本部危機局チーフ	奥村 美智子	
	本部政策企画局エコシステム・生物多様性デ	バックストン 美登利	
【要人往来、政策対話等の実績】(過去3年分)			
日・UNDP戦略対話(2021年12月、2023年1月及び2023年11月)			
鈴木外務副大臣とシュタイナー総裁との意見交換(2022年5月)			
鈴木外務副大臣とアフナUNDPアフリカ局長との意見交換(2022年5月)			
シュタイナー総裁による岸田総理表敬、林外務大臣表敬(2022年7月)			
吉川外務大臣政務官とイヴァナ・ジヴコヴィッチUNDP欧州・CIS局長との意見交換(2022年12月)			
武井外務副大臣とウリカ・モデルUNDP対外関係・アドボカシー局長及び岡井朝子同危機局長との意見交換(2023年1月)			
人間開発報告書2021-2022及び人間の安全保障特別報告書発刊イベント(武井副大臣による挨拶)			
シュタイナー総裁による林外務大臣表敬(2023年7月)			
穂坂外務大臣政務官とウリカ・モデルUNDP対外関係・アドボカシー局長との意見交換(2023年11月)			
穂坂外務大臣政務官とカンニ・ウィグナラジャUNDPアジア太平洋局長との意見交換(2023年11月)			
穂坂外務大臣政務官とジブコビッチ欧州・CIS局長との意見交換(2024年2月)			
野田 章子UNDP総裁補・危機局長による上川外務大臣表敬(2024年4月)			
深澤陽一外務大臣政務官とアブダラ・アル・ダルダリUNDP総裁補兼アラブ局長との意見交換(2024年6月)			
穂坂外務大臣政務官とシウ・ハオリャンUNDP副総裁との意見交換(2024年6月)			
辻外務副大臣とエザコンワ国際連合開発計画(UNDP)総裁補兼アフリカ局長との意見交換(2024年8月)			
シュタイナー総裁による岩屋外務大臣表敬(2024年12月)			
【備考】			

<b>2023-A</b>			
<b>国際機関名 (英語略称)</b>	国連開発計画・グローバルヘルス技術振興基金連携事業拠出金 (GHIT) (UNDP GHIT)		
<b>英名称</b>	United Nations Development Programme Global Health Innovative Technology Fund (UNDP GHIT)		
<b>種 別</b>	その他国際機関 (OECD関連を除く)		
<b>【所管官庁担当局課・室名】外務省国際協力局国際保健戦略官室</b>			
<b>【当該国際機関の本部所在地・活動目的等の概要】</b>			
本部所在地: 日本 (東京) 活動目的等: グローバルヘルス技術振興基金 (GHIT) は、顧みられない熱帯病 (NTDs)、マラリア、結核に対する治療薬、ワクチン、診断薬の開発を促進すべく、日本政府、海外財団、日本の製薬企業等が立ち上げた官民パートナーシップ。日本の企業、大学、研究機関等と海外の機関等のパートナーシップによる優良な研究開発案件に対して助成を行っている。先進国において需要が少ない等の理由から十分に開発されておらず、市場の原理だけでは解決できない疾病の医薬品の研究開発に対する支援を行う。また、NTDs等に苦しむ途上国の人々が、実際に開発された医薬品を活用できるようにするためには、医薬品の供給網整備や適切な薬価の設定等が必要である。このため国連開発計画 (UNDP) を通じて、医薬品の供給準備・供給支援に貢献する。			
<b>【当該国際機関の財政 (2023年予算)】</b> 出典: GHITからの報告による			
	総収入 (千円)	総支出 (千円)	
分担金・義務的拠出金			
任意拠出金	12,121,621	3,463,070	
会計年度: 暦年, 2023-04-01 ~ 2024-03-31			
会計検査機関名: (構成員の出身国:)			
<b>【任意拠出金の拠出上位5か国等 (2023年のもの)】</b> 出典: UNDPからの報告による			
	国 名	金額 (千円)	拠出率 (%)
1位	日本	4,690,000	100%
2位			
3位			
4位			
5位			
<b>【分担金・義務的拠出金の拠出上位5か国等 (のもの)】</b> 出典:			
	国 名	金額 (千円)	拠出率 (%)
1位			
2位			
3位			
4位			
5位			
<b>【我が国による拠出の形態】</b>			
分担金・義務的拠出金の名称及び主管官庁:			
任意拠出金・出資金、基金の名称及び主管官庁: (B票参照)			
<b>【当該国際機関で働く邦人職員 (2023年12月時点のもの)】</b>			
邦人職員数	16人	当該機関全体の職員数	18人
うち幹部以上	うち7人	及び邦人職員が占める率	88.9%
<b>【邦人職員が占めている幹部ポスト (Dポスト以上)】</b>			
ポストの名称	職員氏名	備考	
CEO兼専務理事	國井 修	世界エイズ・結核・マラリア対策基金 (グローバルファンド) 戦略・投資・効果局長	
投資戦略 兼 ポートフォリオ開発 & イノベーションズ アソシエイトヴァイスプレジデント	浦辺 隼	Synthetic Genomic社	
投資戦略 兼 ビジネスディベロップメント シニアディレクター	鹿角 契	世界銀行 (ヘルススペシャリスト)	
エクスターナルアフェアーズ & コーポレートディベロップメント ディレクター	関 一恵	IBM Watson Health	
ファイナンス & オペレーションズ シニアディレクター	高澤 美保	Mapletree Investment Japan株式会社	
コーポレート・オペレーションズ アソシエイトヴァイスプレジデント	酒井 伸	三菱商事株式会社	
ブランドコミュニケーション アソシエイトディレクター	麦谷 英理子	マニライフ生命保険株式会社	
<b>【要人往来、政策対話等の実績】 (過去3年分)</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・GHITでは、年に一度実施される評議会 (6月)、年4度実施される理事会 (2, 6, 7, 10月) 及び理事会の下にあるワーキンググループ等において、政策対話を行っており、日本政府の意見を反映した適切な事業運営が行われるように努めている。</li> <li>・2022年2月、國井次期 (当時) CEO が鈴木外務副大臣を表敬し、事業説明を行うとともに、赤堀地球規模課題審議官と面会し、政策対話を実施 (いずれも対面)。</li> <li>・2022年3月、國井CEO が木原内閣官房副長官を表敬し、政策対話を実施。</li> <li>・2022年3月、國井CEO が塩崎元厚労大臣と政策対話を実施。</li> <li>・2022年6月、マンディーブ・ダリワル UNDP 政策プログラム支援局 HIV・保健・開発グループ・ディレクターが赤堀地球規模課題審議官と面会し、政策対話を実施。</li> <li>・2022年10月、ピーター・ピョット副会長が木原副長官を表敬。</li> <li>・2023年1月、マンディーブ・ダリワル UNDP 政策プログラム支援局 HIV・保健・開発グループ・ディレクターが原審議官を表敬。</li> <li>・2023年11月、マンディーブ・ダリワル UNDP 政策プログラム支援局 HIV・保健・開発グループ・ディレクターが北村審議官を表敬。</li> </ul>			
<b>【備考】</b>			

<b>2023-A</b>			
<b>国際機関名 (英語略称)</b>	国連環境計画(UNEP)		
<b>英文名称</b>	United Nations Environment Programme(UNEP)		
<b>種 別</b>	国連計画・基金		
【所管官庁担当局課・室名】外務省国際協力局地球環境課			
【当該国際機関の本部所在地・活動目的等の概要】 本部所在地:ケニア(ナイロビ) 活動目的等:1972年に設立された地球規模の環境問題に全般的に対処する唯一の国連機関。国連諸機関の環境関連活動の総合的調整・管理並びに国連内外の環境問題への取組に対する資金的、技術的支援を通じた環境分野における国際協力の推進を目的とする。			
【当該国際機関の財政(2023年予算)】			
出典:Fund of the UNEP Financial report and audited financial statements for the year ended 31 December 2023 and Report of the Board of Auditors (A/79/5/Add.7)			
	総収入	総支出	
分担金・義務的拠出金	備考参照	備考参照	
任意拠出金	備考参照	備考参照	
会計年度:暦年,2023-01-01~2023-12-31			
会計検査機関名:Board of Auditors (構成員の出身国:中国、チリ、フランス)			
【任意拠出金の拠出上位5か国等(2023年のもの)】			
出典:UNEP Environment Fund Report as at 31 October 2024			
	国 名	金額(千ドル)	拠出率(%)
1位	ノルウェー	12,243	16.7%
2位	オランダ	10,283	14.0%
3位	ドイツ	8,027	10.9%
4位	フランス	7,551	10.3%
5位	デンマーク	7,401	10.1%
11位	日本	1,410	1.9%
【分担金・義務的拠出金の拠出上位5か国等(のもの)】			
出典:			
	国 名	金額(千ドル)	拠出率(%)
1位	-	-	-
2位			
3位			
4位			
5位			
【我が国による拠出の形態】			
分担金・義務的拠出金の名称及び主管官庁:			
任意拠出金・出資金、基金の名称及び主管官庁:(B票参照)			
【当該国際機関で働く邦人職員(2023年12月時点のもの)】			
邦人職員数	16人	当該機関全体の職員数	794人
うち幹部以上	うち1人	及び邦人職員が占める率	2%
【邦人職員が占めている幹部ポスト(Dポスト以上)】			
ポストの名称	職員氏名	備考	
オゾン保護事務局長	中村(関)めぐみ		
【要人往来、政策対話等の実績】(過去3年分)			
2022年5月 アンダーセンUNEP事務局長と小野環境省地球環境審議官の意見交換(於:セネガル・ダカール)			
2022年10月 アンダーセンUNEP事務局長が訪日。林外務大臣及び西村環境大臣への表敬、日UNEP政策対話を実施			
2023年11月 赤堀地球規模課題審議官とアンダーセンUNEP事務局長の意見交換(於:ケニア・ナイロビ)			
2024年2月 第6回国連環境総会(於:ケニア・ナイロビ)の機会に、滝沢環境副大臣とアンダーセンUNEP事務局長が会談			
【備考】			
<p>一般にUNEPの財源は①国連通常予算(国連本体に対する分担金)、②環境基金、③イヤマーク拠出金(各国別及びマルチ基金)からなるとされている(A/79/5/Add.7, pp.53-54)。①は国連に対する分担金、②と③は任意拠出金である。このうち当省においてはUNEPに対して②及び③を拠出している。本票の「当該国際機関の財政」欄における「分担金・義務的拠出金」と「任意拠出金」の二分法においては、上記①が「分担金・義務的拠出金」、②と③が「任意拠出金」に相当するかのような印象がある。</p> <p>しかし実際のUNEP監査報告((A/79/5/Add.7,p.90)における「assessed contributions」と「voluntary contributions」の概念は、それぞれ上記①②③以外の財源を含んでいたり、③が③として分類されず他の分類に細分化されていたり、同じ財源でも「assessed contributions」「voluntary contributions」の双方に跨っているものがあるなど、当省側の①/②③という二分法に合致していない(②に特化した収入・支出数値はあるが、③に特化した数値、②③だけに特化した数値はない)。このため同報告p.90に基づく「assessed contributions」と「voluntary contributions」の総収入・総支出数値を「分担金・義務的拠出金」欄に報告しても①の実情や当省が拠出する②③の категорияに合致せず、全体像の把握に必ずしも資すると思われなことから、本欄は敢えて空欄のままとしている。</p> <p>一方、UNEP Environment Fund Reportにおいては、任意拠出金である「環境基金」と「イヤマーク拠出」を個別の財源として分離して記載しており、本票で採用している両者を統合した「任意拠出金」という単一カテゴリーでの集計を行っていないが、「環境基金」については国ごとの拠出額や順位に関する安定性のあるデータを公開しているため、「任意拠出金の拠出上位5か国等」の欄には、「環境基金」に関する拠出実績・順位情報を記載している。(イヤマーク拠出の順位情報も存在するが、コア拠出のように定期的に公開されるものではなく随時検索することができるが数値に変動がありデータとしての安定性に欠ける。)以上も踏まえて、この欄には、UNEP側の公表が定期的・安定的で当省の拠出実績の追跡にもより適している環境基金(コア拠出)のデータを記載した。なお、コア拠出、イヤマーク拠出とも、UNEPが公表するデータは、外務省より拠出が多いことも多い環境省拠出分もまとめて「日本」として公表されるため、本票に報告可能な数値は必ずしも当省の拠出実績に合致しているとは限らない。</p>			

<b>2023-A</b>			
<b>国際機関名 (英語略称)</b>	国連環境計画国際環境技術センター(UNEP/IETC)		
<b>英文名称</b>	United Nations Environment Programme for the UNEP International Environment Technology Centre (UNEP/IETC)		
<b>種 別</b>	国連計画・基金		
<b>【所管官庁担当局課・室名】</b> 外務省国際協力局地球環境課			
<b>【当該国際機関の本部所在地・活動目的等の概要】</b>			
本部所在地: 日本(大阪) 活動目的等: UNEP/IETCは、国連における環境分野の唯一の専門組織であるUNEP内の機関として、途上国等への環境技術の移転を目的として設立され、我が国が誘致した。			
<b>【当該国際機関の財政(2023年予算)】</b> 出典: 年次報告書2023			
	総収入(千ドル)	総支出(千ドル)	
分担金・義務的拠出金	-	-	
任意拠出金	3,364	967	
会計年度: 暦年, 2023-01-01~2023-12-31			
会計検査機関名: 国連会計検査委員会(BOA) (構成員の出身国: 中国、チリ、フランス)			
<b>【任意拠出金の拠出上位5か国等(2023年のもの)】</b> 出典: 当該機関から聴取			
	国 名	金額(千ドル)	拠出率(%)
1位	日本	821	33.7%
2位	スウェーデン	474	19.5%
3位	国連環境計画(UNEP)	95	3.9%
4位	欧州連合(EU)	59	2.4%
5位			
<b>【分担金・義務的拠出金の拠出上位5か国等(のもの)】</b> 出典:			
	国 名	金額( )	拠出率(%)
1位	-	-	-
2位			
3位			
4位			
5位			
<b>【我が国による拠出の形態】</b>			
分担金・義務的拠出金の名称及び主管官庁:			
任意拠出金・出資金、基金の名称及び主管官庁: (B票参照)			
<b>【当該国際機関で働く邦人職員(2024年01月時点のもの)】</b>			
邦人職員数	2人	当該機関全体の職員数	4人
うち幹部以上	うち0人	及び邦人職員が占める率	50%
<b>【邦人職員が占めている幹部ポスト(Dポスト以上)】</b>			
ポストの名称	職員氏名	備 考	
<b>【要人往来, 政策対話等の実績】(過去3年分)</b>			
2022年5月 アンダーセンUNEP事務局長と小野環境省地球環境審議官の意見交換(於: セネガル・ダカール)			
2022年10月 アンダーセンUNEP事務局長が訪日。林外務大臣及び西村環境大臣への表敬, 日UNEP政策対話, IETC設立30周年行事(武井外務副大臣がビデオメッセージ)を実施。			
2023年11月 赤堀地球規模課題審議官とアンダーセンUNEP事務局長の意見交換(於: ケニア・ナイロビ)			
2024年2月 第6回国連環境総会(於: ケニア・ナイロビ)の機会に, 滝沢環境副大臣とアンダーセンUNEP事務局長が会談			
<b>【備考】</b>			
【注】我が国拠出額は外務省, 環境省の拠出の合計。			

<b>2023-A</b>			
<b>国際機関名 (英語略称)</b>		国連環境計画アジア太平洋地域事務所 (UNEP ROAP)	
<b>英文名称</b>		United Nations Environment Programme, Regional Office for Asia and the Pacific	
<b>種 別</b>		国連計画・基金	
【所管官庁担当局課・室名】環境省水・大気環境局環境管理課			
【当該国際機関の本部所在地・活動目的等の概要】 本部所在地: タイ(バンコク) 活動目的等: アジア太平洋地域におけるパートナーシップ活動(APCAP)を通じて各国の大気環境政策を支援し、環境改善を促進する。			
【当該国際機関の財政(2023年予算)】		出典: 2023年会計報告書(2024年4月)	
		総収入(千ドル等)	総支出(千ドル等)
分担金・任意拠出金		1,270	922
任意拠出金		-	-
会計年度: 暦年(2023.1~2023.12)			
会計検査機関名: 国連会計検査委員会 (構成員の出身国: フランス・中国・チリ)			
【任意拠出金の拠出上位5か国等分担金・義務的拠出金を含む。】【注1】		出典: 非公表のためわが国拠出のみ記載	
	国 名	金額(千ドル/千ユーロ等)	拠出率(%)
1位	日本	150	11.8%
2位			0.0%
3位			0.0%
4位			0.0%
5位			0.0%
【分担金・義務的拠出金の拠出上位5か国等】		出典: 2023年会計報告 www. //	
	国 名	金額(千ドル)	拠出率(%)
1位			
2位			
3位			
4位			
5位			
【我が国による拠出の形態】			
分担金・義務的拠出金の名称及び主管官庁:			
任意拠出金・出資金、基金の名称及び主管官庁: (B票参照)			
【当該国際機関で働く邦人職員(2023年12月時点。外務省調べ)】		【当該国際機関の職員数(当該機関公表)】	
邦人職員数	25人	専門職以上(2023年12月時点)	850人
うち幹部以上	うち2人	【注2】	
【邦人職員が占めている幹部ポスト(Dポスト以上)】			
ポストの名称		職員氏名	備考
EXECUTIVE SECRETARY D-2		Megumi NAKAMURA	Nairobi
PRINCIPAL COORDINATION OFFICER D-1		FumikoNAKAO	Montreal
			【注2】
【要人往来、政策対話等の実績】(過去3年分)			
2022年3月 アンダーセンUNEP事務局長と石原宏高環境副大臣の会談(於: ナイロビ)			
2022年10月 日UNEP政策対話(於: 東京)、アンダーセンUNEP事務局長と林外務大臣、西村環境大臣との会談			
【備考】			
【注1】アジア太平洋クリーン・エア・パートナーシップ (APCAP) 拠出金のみ			
【注2】職員数・法人職員等はUNEP全体の情報			

2023-A			
国際機関名 (英語略称)	国連人口基金 (UNFPA)		
英文名称	United Nations Population Fund (UNFPA)		
種 別	国連計画・基金		
【所管官庁担当課・室名】外務省国際協力局国際保健戦略官室			
【当該国際機関の本部所在地・活動目的等の概要】			
本部所在地: 米国 (ニューヨーク)			
活動目的等: UNFPAは世界150以上の国・地域で国別プログラムを策定し、リプロダクティブ・ヘルス・サービスを通じた母子保健の推進、家族計画に関する情報・サービスの提供、性感染症対策、国勢調査等の人口関連データ収集・分析・調査に対する協力を通じた包括的な人口政策の策定・実施・評価の支援、各国の政策決定者や市民社会に対する人口と開発に関する積極的な啓発活動を実施している当該分野の主要な国連機関。			
【当該国際機関の財政 (2023年予算)】		出典: Statistical and financial review, 2023	
	総収入(千ドル)	総支出(千ドル)	
分担金・義務的拠出金		-	
任意拠出金	1,565,300	1,510,400	
会計年度: 暦年, 2023-01-01 ~ 2023-12-31			
会計検査機関名: 国連会計検査委員会(BOA) (構成員の出身国: 中国, チリ, 仏)			
【任意拠出金の拠出上位5か国等 (2023年のもの)】		出典: Statistical and financial review, 2023	
	国 名	金額(千ドル)	拠出率(%)
1位	米国	161,663	10.3%
2位	英国	129,460	8.3%
3位	ノルウェー	113,940	7.3%
4位	スウェーデン	76,158	4.9%
5位	オランダ	72,148	4.6%
9位	日本	42,352	2.7%
【分担金・義務的拠出金の拠出上位5か国等 (のもの)】		出典:	
	国 名	金額( )	拠出率(%)
1位	-	-	-
2位			
3位			
4位			
5位			
【我が国による拠出の形態】			
分担金・義務的拠出金の名称及び主管官庁:			
任意拠出金・出資金、基金の名称及び主管官庁: (B票参照)			
【当該国際機関で働く邦人職員 (2023年12月時点のもの)】			
邦人職員数	15人	当該機関全体の職員数	923人
うち幹部以上	うち2人	及び邦人職員が占める率	1.6%
【邦人職員が占めている幹部ポスト(Dポスト以上)】			
ポストの名称	職員氏名	備考	
人道支援局局長	新垣 尚子	D2	
太平洋準地域事務所所長	加藤 伊織	D1	
【要人往来, 政策対話等の実績】(過去3年分)			
2023年7月ナタリア・カネムUNFPA事務局長と赤堀地球規模課題審議官による政策協議			
2024年3月ナタリア・カネムUNFPA事務局長と赤堀地球規模課題審議官による政策協議			
2024年3月ナタリア・カネムUNFPA事務局長による穂坂泰外務大臣政務官表敬			
2024年4月国際人口問題議員懇談会(JPPF)50周年記念会合参加者による上川外務大臣表敬(アンドリュース・サバートン UNFPA事務局次長)			
2024年5月ナタリア・カネムUNFPA事務局長と穂坂泰外務大臣政務官の会談(於: バングラデシュ)			
【備考】			
当該国際機関の会計年度は毎年1月から12月末までとなっている。したがって、我が国とは会計年度が異なっているため、拠出率の扱い等については暦年となっている。			

<b>2023-A</b>			
<b>国際機関名 (英語略称)</b>	国連世界食糧計画(WFP)		
<b>英文名称</b>	United Nations World Food Programme(WFP)		
<b>種 別</b>	国連計画・基金		
<b>【所管官庁担当局課・室名】外務省国際協力局 緊急・人道支援課</b>			
<b>【当該国際機関の本部所在地・活動目的等の概要】</b>			
本部所在地: イタリア(ローマ) 活動目的等: 食料支援を通じた世界の飢餓撲滅と貧困削減			
<b>【当該国際機関の財政(2023年予算)】</b> 出典: Audited annual accounts 2023			
	総収入(千米ドル)	総支出(千米ドル)	
分担金・義務的拠出金			
任意拠出金	9,123,700	10,864,400	
会計年度: 暦年, 2023-01-01~2023-12-31			
会計検査機関名: Präsident des Bundesrechnungshofes of Germany(ドイツ会計検査院) (構成員の出身国: ドイツ)			
<b>【任意拠出金の拠出上位5か国等(2023年のもの)】</b> 出典: Contribution in 2023			
	国 名	金額(千米ドル)	拠出率(%)
1位	米国	3,050,097	34.5%
2位	ドイツ	1,329,069	15.0%
3位	欧州委員会(EC)	504,673	5.7%
4位	カナダ	306,934	3.5%
5位	英国	290,942	3.3%
8位	日本	208,974	2.4%
<b>【分担金・義務的拠出金の拠出上位5か国等(のもの)】</b> 出典:			
	国 名	金額( )	拠出率(%)
1位			
2位			
3位			
4位			
5位			
<b>【我が国による拠出の形態】</b>			
分担金・義務的拠出金の名称及び主管官庁:			
任意拠出金・出資金, 基金の名称及び主管官庁: (B票参照)			
<b>【当該国際機関で働く邦人職員(2023年12月時点のもの)】</b>			
邦人職員数	58人	当該機関全体の職員数	2589人
うち幹部以上	うち3人	及び邦人職員が占める率	2.2%
<b>【邦人職員が占めている幹部ポスト(Dポスト以上)】</b>			
ポストの名称	職 員 氏 名	備 考	
パキスタン事務所代表	牛山浩子	前ニューヨーク事務所代表	
在ローマ本部執行理事会事務局副事務局長	玉村美保子	前本部在ローマ国際機関連携部長	
日本事務所代表	津村康博	前ガンビア事務所代表	
<b>【要人往来, 政策対話等の実績】(過去3年分)</b>			
ピースリー事務局長訪日(2022年7月), クラメルト副事務局長訪日(2022年10月), マケイン事務局次長訪日(2023年4月(G7宮崎農業大臣会合出席のため)), クラメルト事務局次長訪日(2023年11月), スカウ副事務局長訪日(2024年3月), 日・WFP政策協議(2004年から原則毎年開催(ただし2023年・2024年は開催延期))			
<b>【備考】</b>			
【注1】Audited annual accounts, 2023 <a href="https://docs.wfp.org/api/documents/WFP-0000157401/download/">https://docs.wfp.org/api/documents/WFP-0000157401/download/</a>			
【注2】 <a href="https://www.wfp.org/funding/2023">https://www.wfp.org/funding/2023</a>			

<b>2023-A</b>			
国際機関名 (英語略称)	JPO派遣についての合意文書を交換済みの国際機関(JPO)		
英文名称	Junior Professional Officer Program(JPO)		
種 別	その他(複数機関向け)		
【所管官庁担当局課・室名】外務省 国際機関人事センター			
【当該国際機関の本部所在地・活動目的等の概要】			
本部所在地: 複数の国際機関が対象 活動目的等: 国際機関における邦人職員増強を図るため、国際機関に若手邦人をジュニア・プロフェッショナル・オフィサー(JPO)として派遣するもの。派遣費用(給与等の人件費)を「国際機関職員派遣信託基金拠出金」から拠出している。			
【当該国際機関の財政(年予算)】			出典:
	総収入	総支出	
分担金・義務的拠出金			
任意拠出金			
会計年度:			
会計検査機関名: (構成員の出身国:)			
【任意拠出金の拠出上位5か国等(2023年のもの)】			出典: 外務省
	国 名	金額( )	拠出率(%)
1位	日本	1,358,736,338	100.0%
2位			
3位			
4位			
5位			
【分担金・義務的拠出金の拠出上位5か国等(のもの)】			出典:
	国 名	金額( )	拠出率(%)
1位			
2位			
3位			
4位			
5位			
【我が国による拠出の形態】			
分担金・義務的拠出金の名称及び主管官庁:			
任意拠出金・出資金, 基金の名称及び主管官庁: (B票参照)			
【当該国際機関で働く邦人職員(2023年03月時点のもの)】			
邦人職員数 うち幹部以上	179人(JPO派遣者数) JPOは若手職員を対象としているため該当なし	当該機関全体の職員数 及び邦人職員が占める率	-人
【邦人職員が占めている幹部ポスト(Dポスト以上)】			
ポストの名称	職員氏名	備考	
【要人往来, 政策対話等の実績】(過去3年分)			
岸田総理大臣とグテーレス国連事務総長との会談(2024年9月22日)			
【備考】			
【注】JPO派遣制度は、我が国だけでなく、世界23か国で実施されている。JPO派遣に係る経費については、派遣先の国際機関からの請求に基づき、個別に支払いを行う形式であるため、当該経費を支弁するJPO拠出金は各国毎に独立しており、我が国のJPO派遣経費を支弁する拠出金については、我が国のみ拠出している。			

2023-A			
国際機関名 (英語略称)	アジア太平洋適応ネットワーク		
英文名称	Asia-Pacific Adaptation Network		
種 別	国連計画・基金		
【所管官庁担当局課・室名】環境省地球環境局総務課気候変動科学・適応室			
【当該国際機関の本部所在地・活動目的等の概要】			
本部所在地:タイ(バンコク) 活動目的等:国連環境計画(UNEP)が提唱し設立された、世界適応ネットワークを構成する地域ネットワークとして、2009年にUNEP-ROAPに発足。アジア太平洋地域における適応情報・知識の共有を通じて、途上国の人材育成や適応策の立案・実行等を支援している。			
【当該国際機関の財政(2023年予算)】 <span style="float:right">出典:非公表</span>			
	総収入(千米ドル)	総支出(千米ドル)	
分担金・義務的拠出金	-	-	
任意拠出金	-	-	
会計年度:暦年、2023年1月~2023年12月末			
会計検査機関名:当該事業のみを対象に個別に会計監査は実施していない。			
【任意拠出金の拠出上位5か国等】 <span style="float:right">出典:2023年活動報告書(2024年7月)</span>			
	国 名	金額(千米ドル)	拠出率(%)
1位	日本	80	16.8%
2位	国連環境計画(UNEP)	47	9.9%
3位	その他(韓国、FAO、UNDP、ADB他)【注1】	350	73.3%
4位			
5位			
【分担金・義務的拠出金の拠出上位5か国等】			
	国 名	金額(千米ドル)	拠出率(%)
1位	-	-	-
2位			
3位			
4位			
5位			
【我が国による拠出の形態】			
分担金・義務的拠出金の名称及び主管官庁:-			
任意拠出金・出資金、基金の名称及び主管官庁:アジア太平洋適応ネットワーク(APAN)拠出金/環境省(日票参照)			
【当該国際機関で働く邦人職員(2023年12月時点。外務省調べ)】		【当該国際機関の職員数(当該機関公表)】	
邦人職員数 うち幹部以上	0人 うち0人	専門職以上(2023年12月時点)	2人程度 【注2】
【邦人職員が占めている幹部ポスト(Dポスト以上)】			
ポストの名称	職員氏名	備考	
【要人往来、政策対話等の実績】(過去3年分)			
【備考】			
【注1】2023年に韓国で開催された第8回APANフォーラム開催にかかる費用として拠出されたものであり、APAN事務局運営のために拠出されたものではない。			
【注2】職員数について、UNEPにおいて職員は通常複数の事業に携わっており、APAN事業のみ専任で担当する職員は存在しないことから職員数を厳密に特定することは難しく、大まかな見立ての人数とした。			

<b>2023-A</b>			
<b>国際機関名 (英語略称)</b>	世界適応ネットワーク		
<b>英文名称</b>	Global Adaptation Network		
<b>種 別</b>	国連計画・基金		
<b>【所管官庁担当局課・室名】</b> 環境省地球環境局総務課気候変動科学・適応室			
<b>【当該国際機関の本部所在地・活動目的等の概要】</b>			
本部所在地:ケニア(ナイロビ) 活動目的等:国連環境計画(UNEP)が提唱し、2009年にUNEP内に設立された知見共有ネットワーク。世界5地域での適応ネットワークを統括し、気候変動枠組条約(UNFCCC)との連携を含む国際レベルの適応知見共有を通じて、世界全体での適応策の推進に取り組んでいる。			
<b>【当該国際機関の財政(2023年予算)】</b> <span style="float:right">出典:非公表</span>			
	総収入(千米ドル)	総支出(千米ドル)	
分担金・義務的拠出金	-	-	
任意拠出金	-	-	
会計年度:暦年、2023年1月～2023年12月末			
会計検査機関名:当該事業のみを対象に個別に会計監査は実施していない。			
<b>【任意拠出金の拠出上位5か国等】</b> <span style="float:right">出典:2023年活動報告書(2024年7月)</span>			
	国 名	金額(千米ドル)	拠出率(%)
1位	スウェーデン	446	83.2%
2位	日本	90	16.8%
3位			
4位			
5位			
<b>【分担金・義務的拠出金の拠出上位5か国等】</b>			
	国 名	金額(千米ドル)	拠出率(%)
1位	-	-	-
2位			
3位			
4位			
5位			
<b>【我が国による拠出の形態】</b>			
分担金・義務的拠出金の名称及び主管官庁:-			
任意拠出金・出資金、基金の名称及び主管官庁:世界適応ネットワーク(GAN)拠出金/環境省(B票参照)			
<b>【当該国際機関で働く邦人職員(2023年12月時点。外務省調べ)】</b>		<b>【当該国際機関の職員数(当該機関公表)】</b>	
邦人職員数 うち幹部以上	0人 うち0人	専門職以上(2023年12月時点)	4人程度 【注1】
<b>【邦人職員が占めている幹部ポスト(Dポスト以上)】</b>			
ポストの名称	職員氏名	備 考	
<b>【要人往来、政策対話等の実績】(過去3年分)</b>			
<b>【備考】</b>			
【注1】職員数について、UNEPにおいて職員は通常複数の事業に携わっており、GAN事業のみ専任で担当する職員は存在しないことから職員数を厳密に特定することは難しく、大まかな見立ての人数とした。			